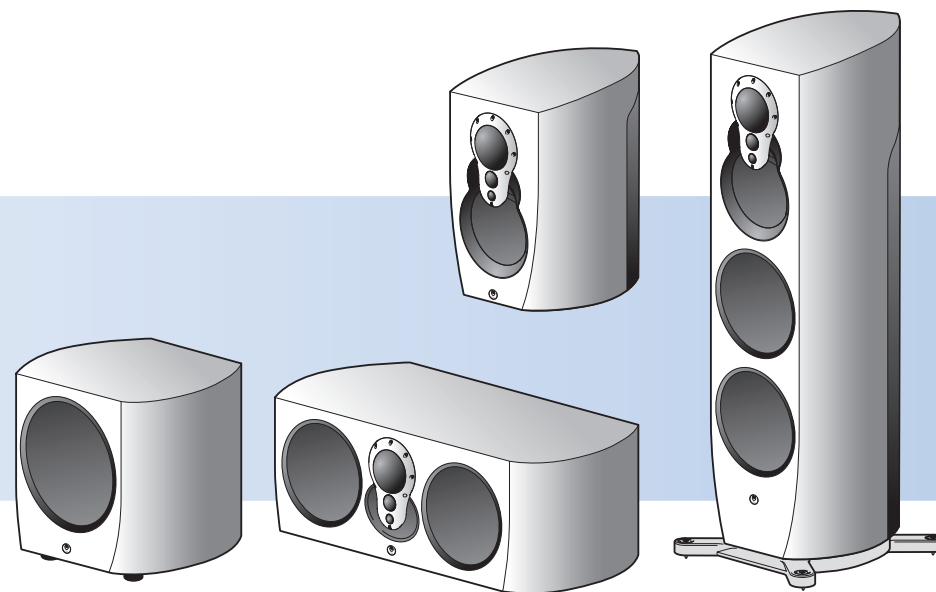


LINN

ARTIKULAT

スピーカー・シリーズ

日本語



オーナーズマニュアル

安全上のご注意

製品の裏に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険があり。一開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑／黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがりません。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ (アンプを含む) などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたりしたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。
15. 壁や天井への取付：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. 電源：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. 電源プラグ：本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ (該当する場合) を使用してください。
18. 電線：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. 屋外アンテナの接地：本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70 の810項を参照してください。
20. 電話線：本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. 異物や液体の混入：本機器内部に異物や液体を入れしないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
22. 火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注 記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレーザーの距離を離す。
- レーザーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。



著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2005 Linn Products Ltd.

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ,
Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) および **Linn のロゴ** は、Linn Products Limited の登録商標です。
ARTIKULAT、**KISTO**、**AKTIV**、**SEKRIT**、**CHAKRA**、および **SKEETS** は Linn Products Limited の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

ARTIKULAT 350 — 英国デザイン登録番号 : 3014677
ARTIKULAT 340 — 英国デザイン登録番号 : 3014676
ARTIKULAT 320 — 英国デザイン登録番号 : 3014671
ARTIKULAT 345 — 英国デザイン登録番号 : 3014675

目次

はじめに

ARTIKULAT システム

ARTIKULAT の特徴

AKTIV システム

ARTIKULAT 350、340、320

開梱

ファブリック・グリル

クリーニング

設置および水平調整

設置

水平調整

接続

一般事項

標準モデルの接続

ワイヤリングおよびアンプ接続オプション

リンクプレートについて

シングルワイヤリング

バイワイヤリングまたはバイアンプ

トライワイヤリングまたはトライアンプ

クアッドワイヤリングまたはクアッドアンプ

1	完全 AKTIV 方式標準モデル	13
1	AKTIV Bass 接続 (BALANCED AUDIO IN)	13
3	Upper 周波数接続	13
5	完全 AKTIV モデルの接続 (ARTIKULAT 350A、340A、320A)	13
7	微調整	14
7	調整スイッチ	14
7	部屋の音響特性	15
7	操作	15
7	ARTIKULAT 345	17
8	開梱	17
8	ファブリック・グリル	17
8	設置	17
9	クリーニング	17
10	接続	18
10	操作	19
10	操作モード	19
10	パラメーター	19
10	技術データ	21
10	保証とサービス	23

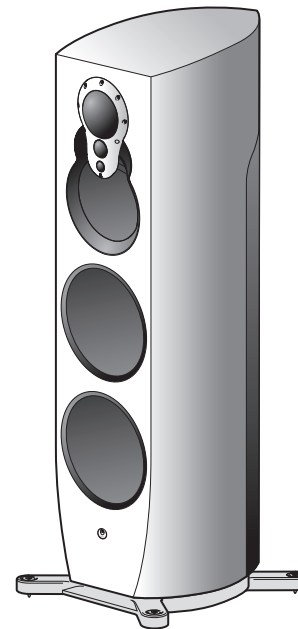
はじめに

近年、一般エンドユーザーのサウンドへの関わり方は大きく変化してまいりました。エンターテインメントシステムはより統合化され音楽と映像システムの境界線が無くなりつつあります。また進化した新たなハイレゾリューションの音楽フォーマットの人気が高まるにつれ、マルチチャンネル・システムはもはや映画ファンだけのものではなくなってまいりました。

このような変化に対応し、再生装置も当然ながら変わっていく必要があります。現在のスピーカーには、よりフレキシブルであること、またシステムの性能を最大限に活かし、高忠実度で幅広いサウンドを再生できることが求められています。娯楽大作の映画で使われる迫力ある爆発音を伝えるスピーカーは同時に、情感を込めてソフトに歌う女性ボーカリストの微妙なニュアンスも再現できなければなりません。

このような条件を念頭に、LINNでは華麗で表現力豊かな迫力ある再生をお届けできるよう、外観・音響ともに際立つ贅沢な高性能スピーカー・システム、ARTIKULATスピーカーを発表いたしました。

ARTIKULAT システム



ARTIKULAT 350A — 中程度からより広いリスニングスペースで、優れたパフォーマンスを提供するために設計された完全 AKTIV 方式*6 ウェイ・フロア型スピーカー。音楽および AV 用に、あらゆる種類の音楽・音色・効果を忠実に再生するずば抜けたオーディオ再生を提供します。ARTIKULAT 350A は LINN AKTIV クロスオーバーを内蔵し、最高のパワーとコントロールを発揮する 1500W 出力の LINN CHAKRA** パワーアンプによって駆動。スピーカーサーボ型 20cm Bass ドライブユニット 2 本と 16.5cm Upper Bass ドライブユニットを搭載し、さらに 3-K アレイ** との組み合わせによって、可聴帯域を上回る周波数領域まで際立つパフォーマンスが楽しみいただけます。

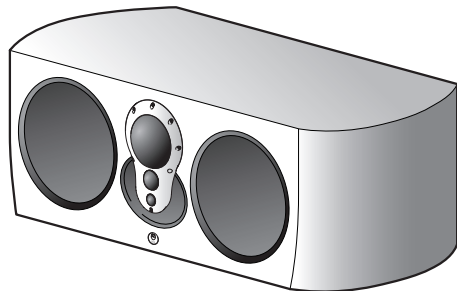
ARTIKULAT 350 — ARTIKULAT 350A と同様ですが、Upper Bass / 3-K アレイ用の高度バツシブ・クロスオーバーを備え、1000W 出力の内蔵 CHAKRA パワーアンプによって駆動する AKTIV Lower Bass ユニットの搭載しています。

*詳細は「AKTIV システム」の項をご参照ください。

**詳細は「機能」の項をご参照ください。

ARTIKULAT 340A — ARTIKULAT 350 フロア型スピーカーにベストマッチするよう設計された完全 AKTIV 方式* 5 ウェイ・センターチャンネル・スピーカーで、コーディネートされたフロント・システム再生を確実にします。他の ARTIKULAT スピーカーシリーズとも合わせて完璧にシームレスなサラウンドシステムの組合せが可能です。ARTIKULAT 340A は AKTIV クロスオーバーを内蔵し、最高のパワーとコントロールを発揮する 1500W 出力の LINN CHAKRA** パワーアンプによって駆動。

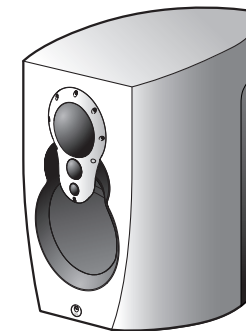
スピーカーサーボ型 20 cm Lower Bass ドライブユニットと 20 cm Upper Bass ドライブユニットを搭載し、さらに 3-K アレイ** との組み合わせによって、全周波数帯域にわたって際立つパフォーマンスがお楽しみいただけます。



ARTIKULAT 340 — ARTIKULAT 340A と同様ですが、Upper Bass / 3-K アレイ用の高度パッシブ・クロスオーバーを備え、500W 出力の内蔵 CHAKRA パワーアンプによって駆動する AKTIV Lower Bass ユニートを搭載しています。

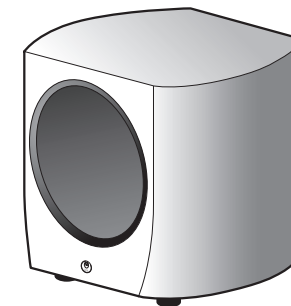
ARTIKULAT 320A — 完全 AKTIV 方式* 高性能 4 ウェイ・コンパクトスピーカー。16.5cm Bass ドライブユニットを搭載し、3-K アレイとの組み合わせによって優れたパフォーマンスを提供。小さめから中程度のリスニングスペースのメインスピーカー用、またはサラウンド用に設計された適用の広いスピーカーです。

AKTIV クロスオーバーおよび 700W 出力の CHAKRA パワーアンプを内蔵し、さらに高度ドライブユニット構成によって、コンパクトスピーカーから究極のサウンドを実現しています。



ARTIKULAT 320 — ARTIKULAT 320A と同様ですが、3-K アレイ用の高度パッシブ・クロスオーバーを内蔵し、500W 出力の内蔵 CHAKRA パワーアンプによって駆動する AKTIV Bass ユニートを搭載しています。

ARTIKULAT 345 — ARTIKULAT システムのために開発された低域補強、AV サブウーハー。完全 AKTIV 方式* の本機は、500W 出力の内蔵スピーカーサーボ型パワーアンプによって駆動。純粋で精確な低域レスポンスのために 45 リットルのキャビネットに 30cm Bass ドライブユニットを搭載しています。



* 詳細は「AKTIV システム」の項をご参照ください。

** 詳細は「機能」の項をご参照ください。

ARTIKULAT スピーカーの特徴

CHAKRA™ アンプテクノロジー

(ARTIKULAT 350A、350、340A、340、320A、320)

ARTIKULAT スピーカーには、LINN 独自の最新パワーアンプ・テクノロジー、CHAKRA が採用されています。CHAKRA は、内蔵 MOSFET 回路のスピード・精密性とディスクリート構成のバイポーラ トランジスターの滑らかさ・堅牢さを組み合わせ、すべてのリスニングレベルにおける完璧なパワーの制御を可能としています。



LINN 3K アレイ (特許出願中)

(ARTIKULAT 350A、350、340A、340、320A、320)

LINN オリジナルのアカースティック3Kアレイ (中音・高音・超高音) は、最高の音の伸びとパフォーマンスを生みだし、オープンで自然なプレゼンテーションやクリアで精緻な音色と効果を発揮します。3Kアレイを構成するドライブユニットは厳密な公差範囲内にマッチングされ、音の純粋性やパフォーマンスの一貫性をシステム全体にわたって維持します。

3Kアレイは、ミッドレンジ、ツイーター、スーパーツイーターのドライブユニットを組み合わせています。



完全 AKTIV* モデル

(ARTIKULAT 350A、340A、320A、345)

完全 AKTIV モデルの ARTIKULAT スピーカーでは、アンプ・チャンネルや全周波数範囲用の AKTIV クロスオーバーなど、完全 AKTIV 操作を必要とするすべての回路が、スピーカー・キャビネット後部に収納されたモジュールに統合されています。これにより、直接プリアンプのオーディオ出力や LINN KISTO などのシステム・コントローラーを接続することができます。



AKTIV 方式* へのアップグレード・オプション

(ARTIKULAT 350、340、320)

内蔵パッシブ・クロスオーバーおよび外部アンプを使って 3K アレイ (ARTIKULAT 350 の場合は Upper Bass も含む) をパッシブ方式で駆動する標準モデルを、LINN 取扱 店に依頼してコンバーター・モジュール、外部アンプ、LINN AKTIV クロスオーバー・モジュールを用いた完全 AKTIV 方式へ転換できます。

メインの Bass ドライブユニットはどの設定においても完全 AKTIV 方式です。

スピーカー特性の調整

(全モデル)

ARTIKULAT 350、340、320 各モデルの BASS SHELF (低域レスポンス)、TREBLE SHELF (高域レスポンス) (完全 AKTIV システムのみ)、BASS ROLL-ON (Bass ロールオン) 設定を、スピーカー後部のスライドスイッチを使って調整することができます。

ARTIKULAT 345 スーパーウーファーは、選択・調整スイッチを使って7つのパラメーターを調整できます。

*詳細は「AKTIV システム」の項をご参照ください。

高度なキャビネット・デザイン

(全モデル)

優雅にカーブしたデザインは、コンテンポラリーでダイナミックな印象を与えると同時に、そのアーチ型の形状はエンクロージャ全体の強度とエンクロージャの剛性を最大限にし、キャビネットの内部音響特性を最適なものとしています。

純木製化粧板でエレガントに仕上げられた圧力形成の天然木多層素材は、強度と柔軟性、耐久性、音響パフォーマンス、美しい天然仕上げの見事なコンビネーションになっています。

デュアル20cm Bass ドライブユニット

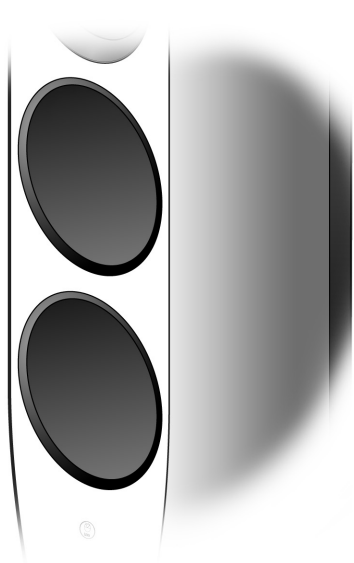
(ARTIKULAT 350A、350)

パワフルでしかも極度に精緻なこれらの Lower Bass ドライブユニットによって、より大きなエンクロージャを必要とせず低音レスポンスの深みと質を実現できます。各ドライブユニットは、特に超低域まで明確な音階再生ができるように調整されています。

アクティブサーボ型 Bass ドライブユニット

(ARTIKULAT 350A、350、340A、340)

各スピーカーのメイン Bass ドライブユニットの動きは、ボイスコイルに設置された加速度検知器 (正確なモーションセンサー) によって常にモニターされています。コントロールデータはサーボ回路にフィードバック、ドライブユニットの入力信号と比較されてリアルタイムで効果的に低音レスポンスがファインチューニングされるので、ドライブのいかなる非直線性も克服され、環境条件による偏差を補正することができます。その結果、オリジナルの入力信号可能な限り忠実な出力が可能となります。スピーカーサーボと LINN の AKTIV クロスオーバーの組み合わせにより、どのようなリスニング状況においても正確で充実した品格ある低音再生が実現します。



高性能 16.5 cm サンドイッチコーン型 Bass ドライブユニット

(ARTIKULAT 350A、350、320A、320)

多層のコーン型デザインにより、音楽性の高い忠実な低音再生を生み出します。

SEKRIT-FASTENER (シークリット・ファスナー)

(全モデル)

ぴったりとフィットするスマートな取付け構造のグリル。

磁気シールド

(全モデル)

テレビや携帯電話など家電製品との電磁干渉を避けるため、すべての ARTIKULAT スピーカー・シリーズは防磁処理が施されています。

AKTIV™ システム

AKTIVとは、LINNのアクティブクロスオーバーおよびスピーカー設定のことを指します。

AKTIV方式とパッシブ方式

パッシブ方式では、音楽信号がパワーアンプで大きなエネルギーとして増幅された後にスピーカーのパッシブクロスオーバーに送られ、各帯域に分割されてからドライブユニットへと送られます。この方式ではクロスオーバー回路にエネルギーの一部が使われるため、一定の音声信号が失われることになります。

一方、AKTIV方式ではクロスオーバー回路はエレクトロニクスで構成され、パワーアンプ出力に頼る必要がありません。また電源供給される回路に音声信号処理をより大幅にコントロールできる高度な回路を導入することができ、さらに適切な音声出力をドライブユニットに送ることができます。その結果、アクティブ方式ではより優れたオーディオパフォーマンスが楽しめます。

ARTIKULAT 350、340、320 スピーカーの3つの駆動オプション：

- 完全 AKTIV 方式、内蔵 AKTIV モジュールおよびアンプを使用：ARTIKULAT 350A、340A、320A モデル。
- 完全 AKTIV 方式、外部 AKTIV モジュールおよびアンプを使用 (標準モデルからのアップグレードが必要)。
- AKTIV Bass とパッシブ駆動帯域：3-K アレイ* (ARTIKULAT 350、340 モデルの場合は Upper Bass)。

注意：

ARTIKULAT 345 スーパーウーハーおよび ARTIKULAT 350、340、320 スピーカー内の Lower Bass ドライブユニットは、すべての設定で AKTIV 方式となっています。

* 詳細は「機能」の項をご参照ください。

ARTIKULAT 350、340、320

開 梱

ARTIKULAT スピーカーの開梱、設置、調整は、LINN 取扱い店にご依頼くださることを推奨します。

重要な注意事項

ARTIKULAT スピーカー・シリーズは重量級スピーカーです。開梱時には十分に注意して取り扱ってください。身体を傷めないよう、開梱や持ち上げ、移動の際は、2人で作業するようにしてください。

カッターなどを使って箱を開ける時は、パッケージや中身のスピーカーおよびアクセサリを傷つけないように十分に注意してください。

開梱したスピーカーを持ち上げる時は、指輪やプレスレット、洋服のボタン等で表面の化粧板に傷をつけないよう十分に気をつけてください。スピーカーのフロント側を下にして置かないようにし、またドライブユニットを損ねないよう取り扱いの際にスピーカーのフロントに触らないよう気をつけてください。

開梱の仕方：

- 梱包されたスピーカーを、設置場所に接した片づいたスペースに動かします (開梱後のスピーカーの移動・運搬を最小限に抑えるため)。
- スピーカーの入ったカートンをベースを下にして置きます。
- エンドキャップを固定しているバンドを注意深く切り離します。
- トップのエンドキャップを取り外します。
- カートンをキャビネット上方へ引き上げて取り除きます。
- スピーカーをベースのエンドキャップから持ち上げ、保護バッグを外します。
- 一旦スピーカーを設置したら、3-Kアレイ保護カバーを固定しているビニールバンドを注意深く切って、カバーを外します。

注意：

スタンドを取り付けるためなどで ARTIKULAT 350、320 を逆さにする必要がある時は、エンドキャップで固定して置いてください。

箱や梱包材は将来の輸送などに備えて保管しておいてください。

ARTIKULAT 350 フロア型スピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- スピーカースタンドキット
- スパイク調節工具
- 電源コード×2本
- 保証書
- 本マニュアル

The ARTIKULAT 340 センタースピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- スパイクキット
- 電源コード
- 保証書
- 本マニュアル

ARTIKULAT 320 コンパクトスピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- スパイクキット
- 電源コード×2本
- 保証書
- 本マニュアル

ファブリック・グリル

ARTIKULAT 350、340、320 各スピーカーには出荷時、専用のファブリック・グリルが装着されています。このグリルはキャビネット前面の内側に隠された磁石 (防磁型) SEKRIT-Fasteners によって保持されています。ファブリック・グリルを外すには、磁石から離すように下方向にスライドさせ、そつと手前に引き寄せるようにして外してください。

重要

金属製グリルは取り外さないでください。

クリーニング

埃や指紋は、けばのない乾いて柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどは表面を傷めるおそれがありますのでご使用はお控えください。グリルはキャビネットから取り外し、柔らかいブラシで慎重にお手入れください。

設置と水平調整

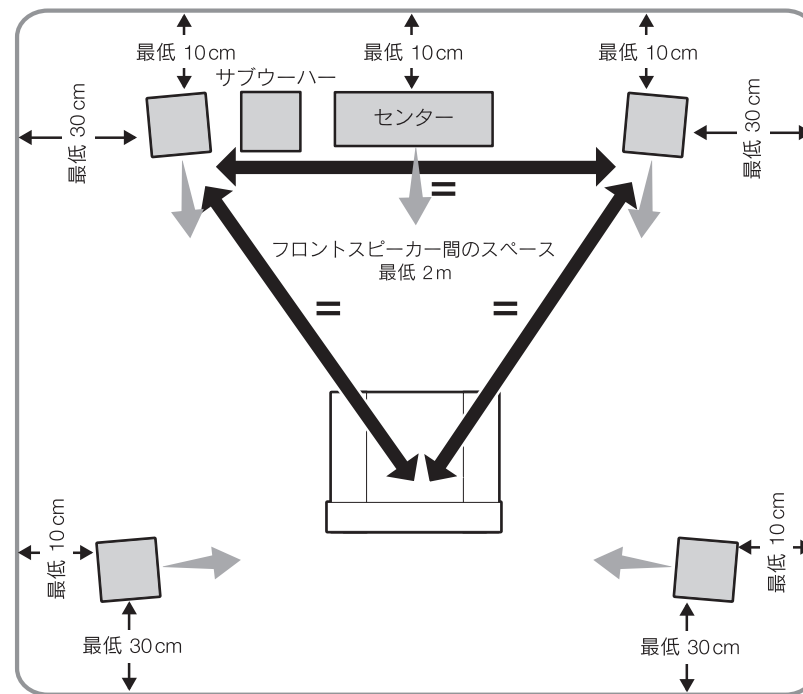
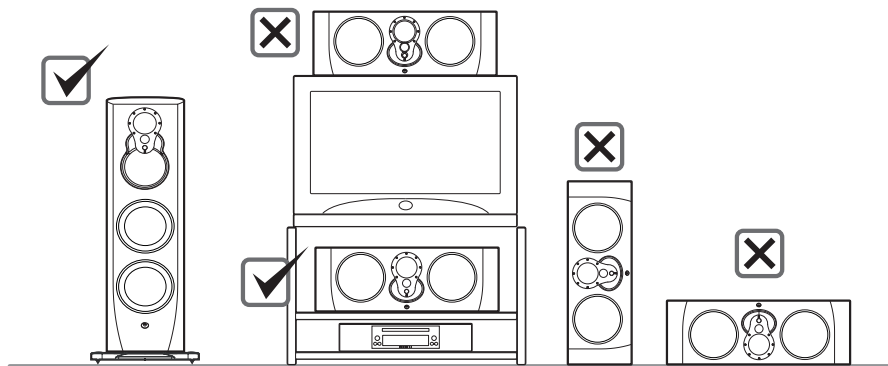
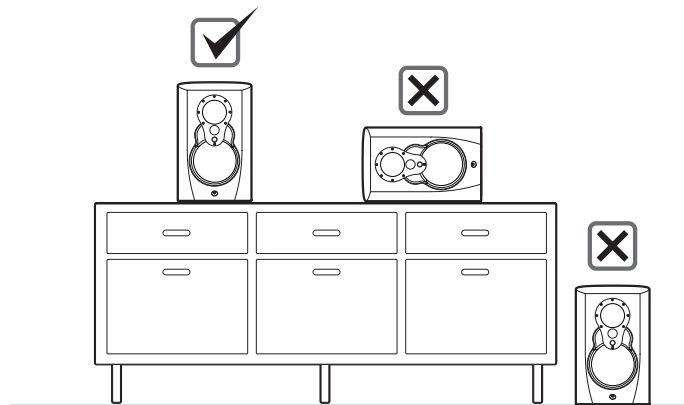
ARTIKULAT スピーカーの開梱、設置、調整は、LINN 取扱い店にご依頼くださることを推奨します。

ARTIKULAT スピーカーの性能を最大限に発揮させるためには正しいセッティングが大切です。そのため、設置、水平調整、接続の後で調整が必要となるかもしれません。詳細は「微調整」の項をご参照ください。

設置

ARTIKULAT スピーカーシリーズでは3Kアレイと近接ユニットレイアウトの特長により、全帯域で一貫した素晴らしい広がり特性を誇っていますので、簡便なセッティングでも優れたパフォーマンスを獲得することが可能です。

スピーカーを壁の近くに置いた場合、低音が出過ぎてブーミーとなったり、音質に影響を与えることがあります。出来ればスピーカーの背面と壁の間に最低10cm以上、側面の壁から最低30cm以上の空間をあけてください。



水平とガタツキの調整

ARTIKULAT スピーカーは水平やガタツキの正しい調整によって、そのサウンドステージや忠実な音のパフォーマンスが確実に向上します。正しく調整されたセッティングは、不安定なものに比べ数段優れた再生音を約束します。それは実際にキャビネット本体がしっかりと固定された状態にあって初めて、ドライブユニットが信号に対して「忠実に振幅する」ことができるからです。なお、スパイクの高さ調整や脚によって多少ガタツキのある床面でも水平に設置することができますが、デコボコが特にひどい床の場合にはこのような調整も利かないことがありますのでお気をつけください。

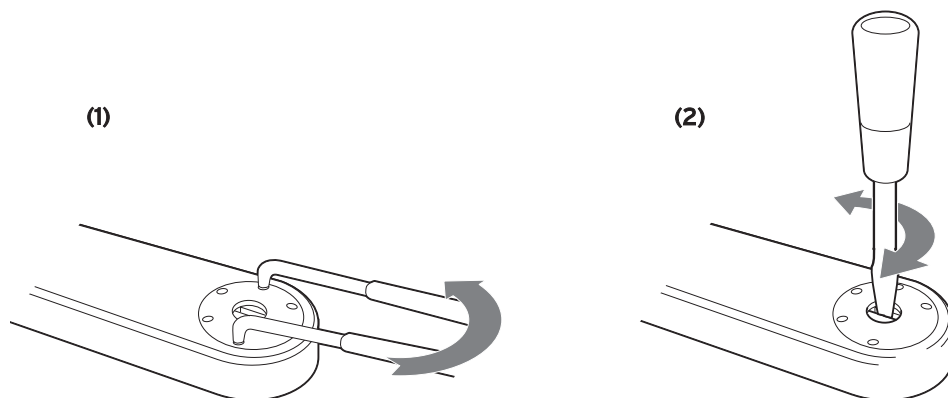
各スピーカーは、以下の手順で水平とガタツキの調整してください。

- キャビネット表面を傷つけないようにしてスピーカー上部に水準器を置き、水平を確認します。次にスピーカーを前後、左右、斜めにゆっくり揺らし、ガタツキがないか調べます。スピーカーが水平でグラつきもない場合は、スパイクの調節は不要です。

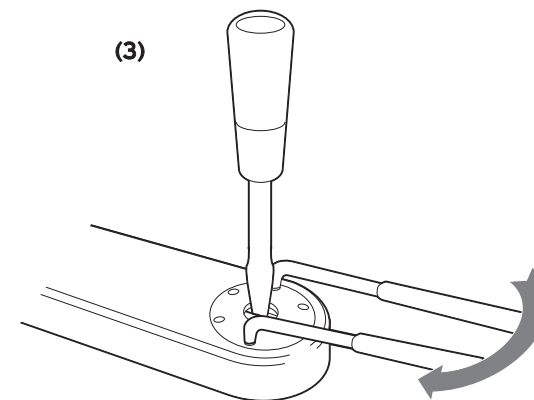
注意：

ARTIKULAT 350 および 320 モデルの場合は、水準器をフロントとサイドに縦に置いて確認します。ARTIKULAT 340 モデルでは、水準器はスピーカー上部に横に置いてください。

- スピーカーが水平でない、あるいは揺らした時にグラつく場合は、付属のスパイク調整用工具を用いてロックナットをゆるめ、スパイクの高さを調節します。



- スピーカーの上部を揺らして、スパイクが床面とガタツキなくきちんと接していることを確認します。
- 再び水準器で確認し、また必要に応じてスパイクを再調整します。
- スピーカーが水平になり、揺れなくなったら、付属のツールを用いてロックナットをしっかりと締めて固定します。



注意

板材やタイルの床をスパイクから保護したり、畳の床に設置する時に便利なスパイクマウント Linn SKEETS が別売にてお求めいただけます。

接続

ARTIKULAT スピーカーの開梱、設置、調整は、LINN 取扱い店にご依頼くださることを推奨します。

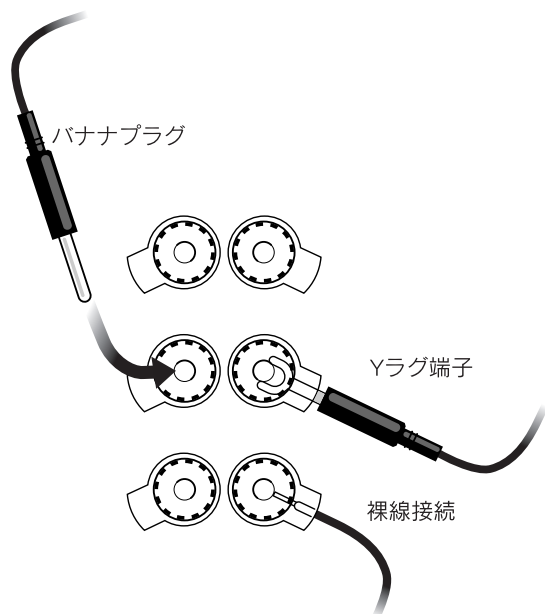
一般事項

重要

スピーカーケーブルの接続や変更をする時は、必ずシステム内のすべてのスイッチを切り、各 ARTIKULAT スピーカの電源コードを抜いてください。

標準モデルの接続 (ARTIKULAT 350、340、320)

ARTIKULAT 350、340、320 スピーカー標準モデルの背面パネルには、Upper 周波数信号 (Upper Bass*、ミッドレンジ、ツイーター、スーパーツイーター) 接続用のターミナルが装着されています。これらの端子は、4mm バナナプラグ接続ソケットとして、また Y ラグ端子などのケーブル接続用の結合端子として利用できます。



重要注意事項 — BALANCED AUDIO IN :



BALANCED AUDIO IN (AKTIV bass) 端子には何も接続しないようにしてください。詳細はリン取扱い特約店様にお問い合わせ下さい。通常の設定 (例えば工場出荷状態) においては、バインディングポスト端子に供給された入力信号は内部のリンクを経由して AKTIV ベース部分へ振り分けられます。お求めになったリン取扱い特約店様にご相談の上、プリアンプから直接入力するように設定を変更しさらに音質改善を図ることができます。

*ARTIKULAT 350 のみ

ワイヤリングおよびアンプ接続オプション

ARTIKULAT 350、340、320 モデルには、入力端子用のリンクプレート (出荷時装着) が付いています。端子をリンクプレートで接続することで、シングルワイヤリング、マルチワイヤリング、マルチアンプなど様々な接続方式が選択できます。

パッシブ方式の標準モデルを接続する場合、シングルワイヤリングからアップデートすることで再生パフォーマンスを高めることができます。シングルアンプチャンネルでは、各ドライブユニットの接続に個別のケーブルを用いるマルチワイヤリングでベストサウンドを得ることができ、また各ドライブユニット接続ごとに個別のアンプを使用するマルチアンプでさらに音質の向上をはかることができます。

しかしながら、真に最高のパフォーマンスを得るためには、スピーカーの駆動方式を AKTIV 方式にアップグレードすることで、マルチワイヤリング/マルチアンプをはるかに凌ぐ質の向上が得られます。(「AKTIV システム」の項を参照)。

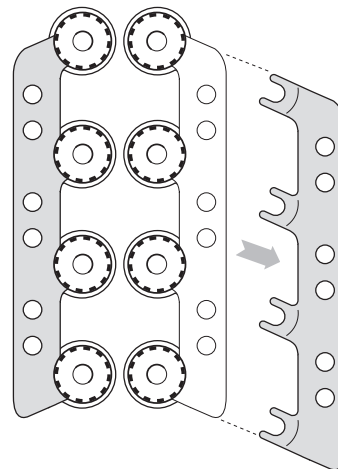
アンプのプラス端子 (赤) がスピーカーのプラス端子と、またアンプのマイナス端子 (黒) がスピーカーのマイナス端子に接続されていることを確認してください。

外部アンプを使用する場合は、LINN のパワーアンプをお選びになることを推奨します。LINN 以外のアンプをマルチアンプ環境で使う場合は、アンバランスを避けるためにそれぞれのゲインが確実にマッチするように気をつけてください。

リンクプレートについて

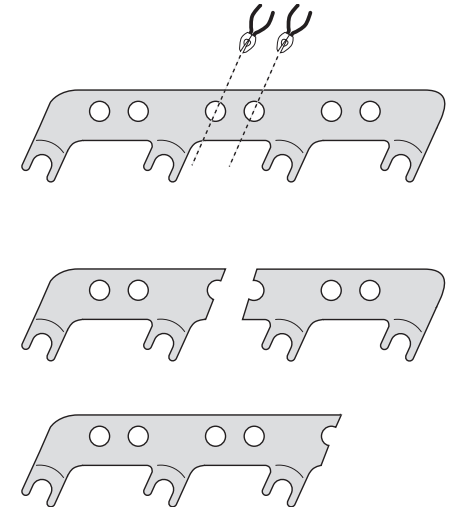
リンクプレートの取り付けと取り外し

- 1 列目の端子に付いている各結合ピンの外側部分をゆるめます (ピンを完全に抜かないでください)。
- リンクプレートを外へ斜めにスライドさせて取り外します。
- リンクプレートを再び取り付ける時は、正しく完全にはめ込まれていることを確認してください。
- すべての結合ピンが固定していることを確認します。(リンクプレートの有無にかかわらず)。
- 2 列目で同様の手順を繰り返します。



マルチワイヤリング/マルチアンプ用のリンクプレート使用方法

- スピーカーから前述の手順でリンクプレートを取り外します。
- カットする位置を決めます (下記のマルチワイヤリング/マルチアンプ・オプションを参考にしてください)。
- 強力な手ばさみか小さな弓のこを用いて斜めに切ります (例参照)。穴を位置ガイドとすると、切るのも容易となります。分断したリンクプレートを両方使用する場合は、スピーカーに装着した時に誤ってリンクが再接続しないように、リンク間にギャップがあるように切断できているか注意してください。図のように両方の穴上を切ることで十分なスペースが確保できます。
- 怪我を防ぐため、鋭利な切断面にやすりをかけます。



リンクプレートを使用する際の重要な注意

上記は参考例に過ぎず、他にも様々な設定が可能です。もし他の設定をされる場合は、LINN 取扱い店にご相談の上、以下の点にご注意ください。

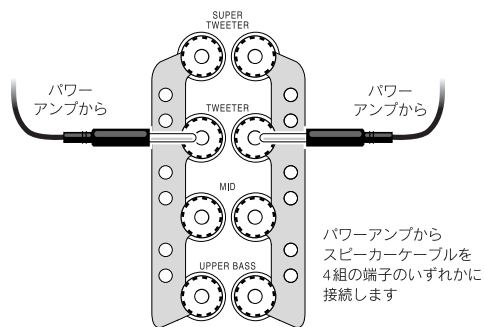
プラスとマイナス端子をリンクプレートでつなぐことは絶対にしないでください。

マルチアンプの場合、リンクプレートが各アンプチャンネルを短絡させないように気をつけてください。個別のアンプチャンネル出力を短絡させると、アンプおよびスピーカー・ドライブユニットを損傷することがあります。

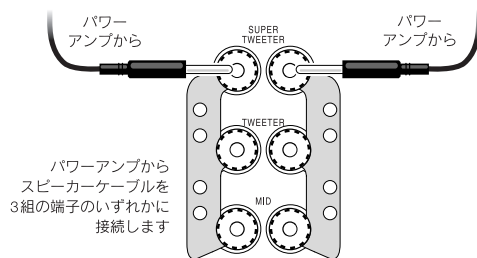
1 つの端子に複数のリンクプレートは使用しないでください。

シングルワイヤリング

シングルワイヤリング (1 台のパワーアンプから1本のスピーカーケーブルで接続) の場合のリンクプレート位置。リンクの調整およびカットは不要です。



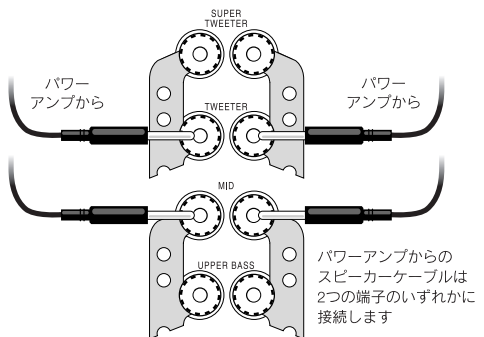
ARTIKULAT 350 および 340



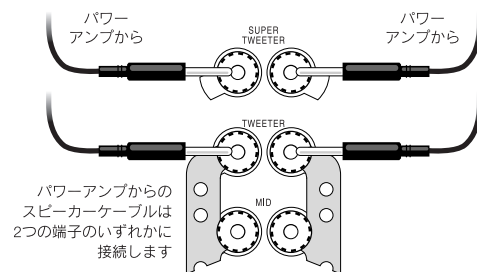
ARTIKULAT 320

バイワイヤリングまたはバイアンプ

バイワイヤリング (1 台のパワーアンプから2本のスピーカーケーブルで接続) またはバイアンプ (2 台のパワーアンプを使用) の場合の分断リンクプレートの取付け位置。



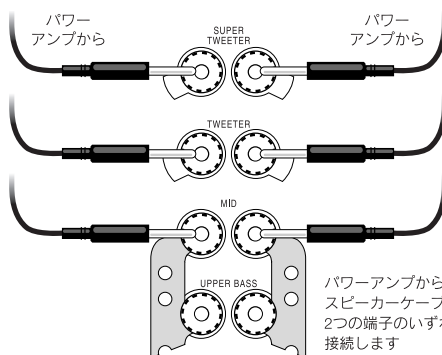
ARTIKULAT 350 および 340



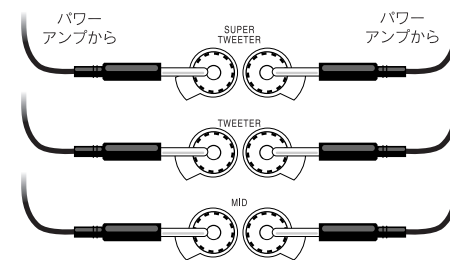
ARTIKULAT 320

トライワイヤリングまたはトライアンプ

トライワイヤリング (1 台のパワーアンプから3本のスピーカーケーブルで接続) またはトライアンプ (3 台のパワーアンプを使用) の場合の分断リンクプレート位置。ARTIKULAT 340 および 320 ではリンクプレートを完全に取り外してください。



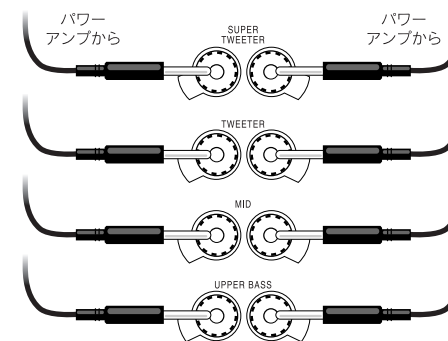
ARTIKULAT 350 および 340



ARTIKULAT 320

クアッドワイヤリングまたはクアッドアンプ

クアッドワイヤリング (1 台のパワーアンプから4本のスピーカーケーブルで接続) またはクアッドアンプ (4 台のパワーアンプを使用) の場合、リンクプレートは取り外してください。



ARTIKULAT 350 および 340

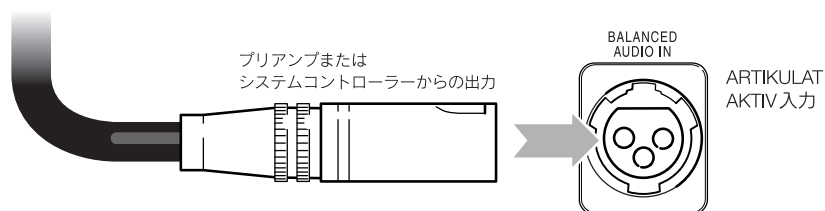
完全 AKTIV 方式* の標準モデル

外部アンプおよび AKTIV モジュールを使用して標準モデル (ARTIKULAT 350、340、320) を AKTIV 操作させるには、以下のように接続してください。

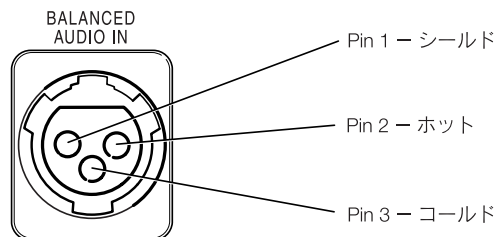
重要な注意

標準モデルの ARTIKULAT スピーカーを接続する前に、LINN 取扱い店に依頼してクロスオーバー・モジュールとパワーアンプ設定を変更してもらってください。

AKTIV Bass 接続 (BALANCED AUDIO IN)

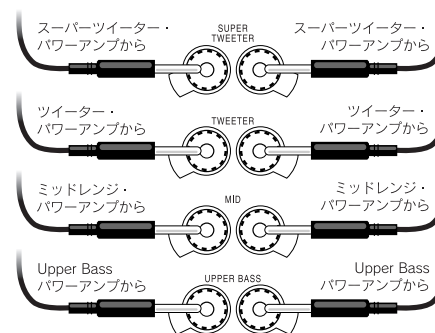


AKTIV 入力端子はバランス音声端子ですので、LINN のバランス・インターコネクト・ケーブル (例: LINN 製品番号: CONN 889) または ARTIKULAT Bass 入力接続に合うように設定されたインターコネクト・ケーブルを左記のように使用されることを推奨いたします。

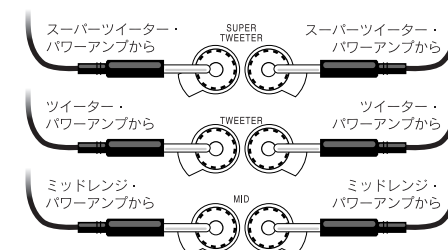


*詳細は「AKTIV システム」の項をご参照ください。

Upper 周波数接続



ARTIKULAT 350 および 340



ARTIKULAT 320

重要な注意

外部アンプおよび AKTIV モジュールを使用する場合は、アンプからのケーブルをすべてスピーカーの正しいソケットに接続するように十分注意してください。間違った接続は、スピーカーのドライブユニット/アンプを損傷することがあります。

完全 AKTIV モデルの接続 (ARTIKULAT 350A、340A、320A)

AKTIV Bass 接続 (BALANCED AUDIO IN) の章における解説のように接続してください。

微調整

ARTIKULAT スピーカーの設置、水平調整、接続が正しく行われたら、次にチューニングによってより優れた性能を発揮させられます。

部屋の音響特性は、広さや形、家具・素材などを始めとするさまざまな要因で異なります。どのような条件においてもスピーカーから最高のパフォーマンスを得るために、以下の情報を参考にしてください。

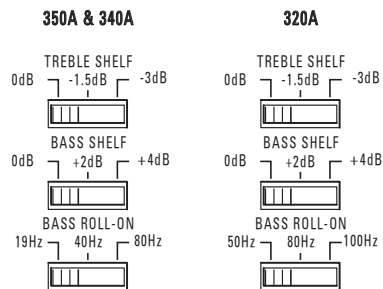
調整スイッチ

ARTIKULAT スピーカーの背面パネルには調整スイッチが備わっています。工場出荷時のスピーカーは、一般的な部屋環境において最高のパフォーマンスが達成できるように設定されています。しかしながら、高域が若干高すぎたり低音が強すぎると感じられる場合は、これらのスイッチで特定のパラメーターを微調整してパフォーマンスを部屋の音響特性に合わせることができます。

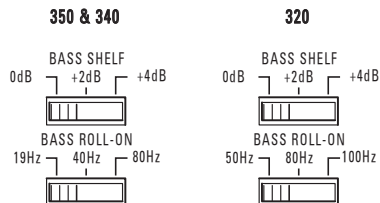
調整を行う前に、まず設置と接続を正しく行ってください（「設置と水平調整」および「接続」の項を参照）。次に音楽の一節を再生してみて、どれだけ容易にチューンを追えるか聴いてみてください。パラメーターを1つだけ調整して、同じ音楽をもう一度聴いてみます。最初と比べてチューンを追うのが容易になったでしょうか、あるいは難しくなったでしょうか？

1回に1つのパラメーターで調整と試聴を繰り返し、音楽性の高いパフォーマンスが最高となるまで続けます。

調整スイッチ：ARTIKULAT 350A、340A、320A 完全 AKTIV モデル



調整スイッチ：標準モデル



BASS SHELF (Bass (低域) シェルフ)/TREBLE SHELF (トレブル (高域) シェルフ)

これらのスイッチは、Bass およびトレブルレンジの振幅をそれぞれカットまたはブーストします。

設定：-1.5dB、0dB*、+1.5dB

低い設定 (-1.5dB) に調整するとその周波数レンジの出力が減ります。中央の設定はフラットレスポンス (ユニティゲイン) で、高い設定 (+1.5dB) にするとその周波数レンジの出力が増加します。例えば、Bass シェルフ・スイッチを -1.5dB に調整すると、スピーカーからの低音出力が下がることになります。

BASS ROLL-ON (Bass ロールオン)

このパラメーターを調整すると再生下限周波数が上がります。これは、ARTIKULAT 345 のようなスーパーウーファーが使われている場合によりよい音響マッチを実現するためにも有効です。

設定 ARTIKULAT 350 および 340： 19Hz*、40Hz、80Hz

ARTIKULAT 320： 50Hz*、80Hz、100Hz

Bass ロールオン設定を上げると、スピーカーの下限周波数がフィルターアウトされます。

* デフォルト (工場出荷時の設定)

部屋の音響特性

部屋によっては、レイアウトを多少変更することで最高のパフォーマンス実現に役立つことがあります。

ARTIKULAT の調整スイッチを設定した後でも高域が強すぎると感じられる場合は、カーペットやラグ、壁掛け、厚手のカーテン、ソファなどの柔らかい素材を置いてください。逆に音が不鮮明な場合は、部屋の中の柔らかい素材を減らします。また、広い壁、天井、床、大きな窓などの遮るもののない平面を、家具や変形の物体で凹凸をつけることで、反響音や「定在波」(音波が広がる代わりに部屋の中を跳ね返る現象)を防ぐことができます。

注意：

部屋のレイアウト変更によって音響特性が変わった場合、スピーカーの設定を調整し直す必要があるかもしれません。前出の「スイッチの調整」の項をご参照ください。

ARTIKULAT スピーカーは最初から技術仕様の記載通りに機能するので、ならし期間のための特別な手順を必要としません。ただし一定期間 (条件および使用頻度によって異なりますが、通常 1～2 週間) 使用された後は、ドライブユニットおよび他の主要コンポーネントが新しい環境に適応して多少性能が向上することはあります。

ARTIKULAT スピーカーの最高性能を発揮させるのに問題がある場合は、LINN 取扱い店でお客様の部屋条件および適切な手段をアドバイスすることができます。

操作

基本操作

アンプの電源投入直後およびスタンバイモード中は、青色LEDが暗く点灯します。

信号検知

入力信号を検知すると、CHAKRAアンプは実動作状態になり、青色LEDが明るく点灯します。音声信号が入力されないと、アンプはおよそ20分後に低消費電力のスタンバイモードに切り替わります。

信号検知回路は高い感度を備えており、システムに入力されたハム音やヒス音などのノイズに検知回路が反応してしまうケースがあります。そのような場合は、ノイズ源を除去してください。

保護機能

動作

アンプのチャンネルがオーバーヒートしたり過負荷状態になった場合、当該チャンネルへの電力供給が自動的にシャットダウンされて、接続されたアンプおよびスピーカーのドライブユニットを保護します。

注意：チャンネルがシャットダウンされる際には、共通の電源を使用しているすべてのチャンネルもシャットダウンされるため、複数のチャンネルが影響を受けることがあります。

継続時間

保護機能を動作させる原因となった状態が終了すると、アンプは自動的に通常の動作に復帰します。チャンネルの保護状態が続く時間は、原因によって異なります。保護状態が数秒以上続く場合、原因としてオーバーヒートが考えられますが、その場合は温度が下がって復帰するまで数分かかることもあります。

保護状態が長時間続く場合 (10分以上)、継続的な過負荷状態が考えられます (アンプに接続されたコンポーネントの一つが故障している場合など)。いったんユニットの主電源をオフにして、約30分後に再始動してみてください。それでも問題が解決されない場合は、購入された販売店へお問合せの上、製品検査を行い、問題の根本原因を突き止めてください。

ARTIKULAT 345

開梱

ARTIKULAT 345 サブウーハーは重量級スピーカーです。開梱時には十分に注意して取り扱ってください。

本機には、以下の付属品が含まれています。

- 電源ケーブル/接地アダプター
- ライン・ケーブル
- 保証書
- 本マニュアル

箱や梱包材は将来の輸送などに備えて保管しておいてください。

開梱の仕方：

- 梱包されたスピーカーを、設置場所に接した片づいたスペースに動かします (開梱後のスピーカーの移動・運搬を最小限に抑えるため)。
- スピーカーの入ったカートンをベースを下にして置きます。
- エンドキャップを固定しているバンドを注意深く切り離します。
- トップのエンドキャップを取り外します。
- カートンをキャビネット上方へ引き上げて取り除きます。
- スピーカーをベースのエンドキャップから持ち上げ、保護バッグを外します。

箱や梱包材は将来の輸送などに備えて保管しておいてください。

ファブリック・グリル

ARTIKULAT 345 スピーカーには出荷時、専用のファブリック・グリルが装着されています。このグリルはキャビネット前面の内側に隠された磁石 (防磁型) SEKRIIT-Fasteners によって保持されています。ファブリック・グリルを取外すには、磁石から離すように下方向にスライドさせ、そっと手前に引き寄せるようにして外してください。

設置

本機はどこにでも設置することができますが、以下の点にご注意ください。

- 本機はテーブルや棚の上ではなく床に直接、設置してください。また重量がありますので必ず安定した場所に置いてください。
- 最高の性能を発揮させるには、本機を左フロントまたは右フロント・スピーカーにできるだけ近く (外側に) 設置してください。
- 本機を壁近くまたはコーナーに置いた場合、特に低音域が強調されることがあります。
- 本機と組み合わせる他のスピーカーシステムや部屋の音響特性に合わせるためにも、設置場所を色々と試してみてください。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。埃や指紋は、けばのない乾いて柔らかいクロスで拭き取ってください。表面を傷めるおそれがありますので、家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

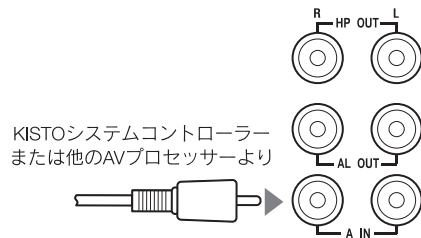
接続

重要

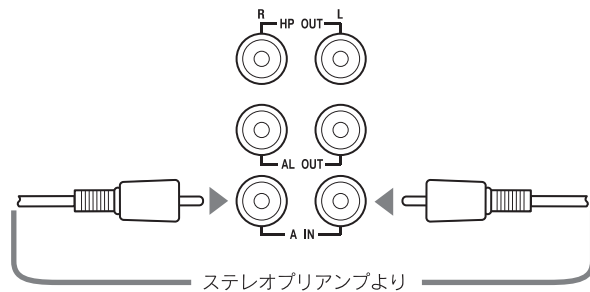
すべてのコンポーネントの接続が完了するまでは、本機に電源ケーブルを接続しないでください。

他の接続がすべて完了したら、ARTIKULAT 345 スピーカーを付属の電源コードで電源コンセントに差し込みます。

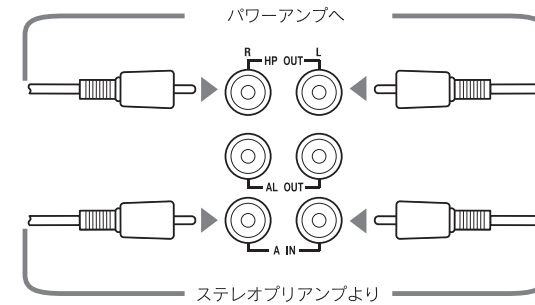
AVプロセッサへの接続



ステレオプリアンプに接続。広帯域スピーカー使用時 (例 : ARTIKULAT 350または320)。



ステレオプリアンプとパワーアンプに接続。小型スピーカー (低音レスポンスに限界があるもの) に使用する場合。

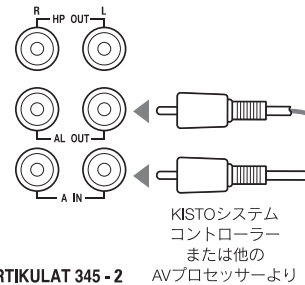


注意

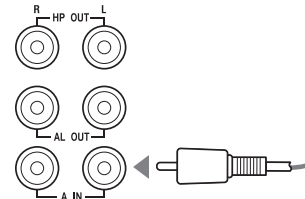
上記の設定において、ARTIKULAT 345 スーパーウーハーからパワーアンプへのローカット・フィルターリングされた音楽信号は小型のメインスピーカーに重低音が送られることを防ぎます。

他の ARTIKULAT 345 スピーカーへの接続

ARTIKULAT 345 - 1

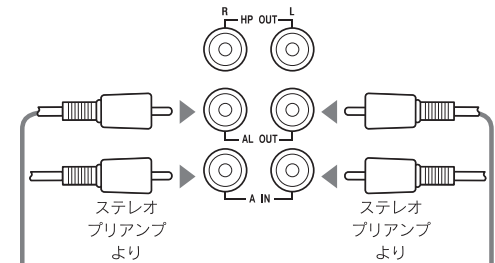


ARTIKULAT 345 - 2

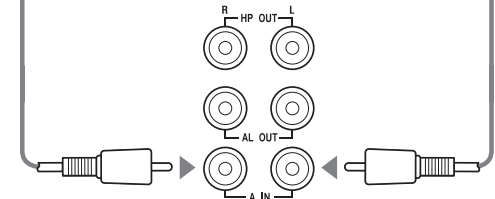


または

ARTIKULAT 345 - 1



ARTIKULAT 345 - 2



操作

必要な信号ケーブルの接続がすべて完了したら、最後に電源ケーブルを差し込みます。背面パネルのディスプレイに点滅バーが約30秒間表示されます。サーボ回路が安定するまでのこの間は、音声出力されません。ディスプレイがスタンバイのシンボル(以下の表を参照)に変わったら、再生可能な状態です。

一度、本機の電源ケーブル抜き差しした時には、上記と同様にスタンバイ・シンボルがディスプレイに現れるまで待つてから再生を開始してください。

操作モード

シンボル	モード	説明
◆	スタンバイ	音声信号を待っている状態。 このモードでの電力消費量はごく微量です。
—	オン	動作状態。 音声信号を受けるとこのモードに入ります。
⊥	サーマルスタンバイ	ユニットがオーバーヒートの状態。 長時間の連続演奏でユニットが万一、オーバーヒートした場合、冷却のため本機は自動的にサーマルスタンバイ・モードに入ります。この間は音声出力されません。温度が通常レベルまで下がると本機は自動的にオン・モードに復帰します。

パラメーター

ARTIKULAT 345 スピーカーは、お好みのパフォーマンスに合わせて調整できる8つのパラメーター(次ページ参照)を備えています。

注: パラメーターはARTIKULAT 345 スピーカーがスタンバイ・モード(無信号)時には調整できません。

パラメーターの調整

調整したいパラメーターを選択するには、

- 音楽を実際にARTIKULAT 345で再生します。
- FEATURE ボタンを指で押したまま、設定するパラメーターが表示されるまでUP、DOWN ボタンを押します。
- 設定したいパラメーターが表示されたらFEATURE ボタンから指を離します。
- UP、DOWN を押して設定の数値を選びます。

ディスプレイは数秒後、自動的に — に変わります。

デフォルト設定に戻すには、

- ARTIKULAT 345 スピーカーの電源ケーブルを抜き、ディスプレイが空白になるのを待ちます。
- つぎにFEATURE ボタンを指で長く押したまま、電源ケーブルを差し込み、ディスプレイが H を表示したらFEATURE ボタンから指を離します。

ディスプレイは数秒後、自動的に — に変わります。

パラメーターの設定と説明

デフォルト (工場出荷時の設定) はブルーで表示されています

パラメーター	シンボル	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
External high pass (Hz) (外部出力のローカット周波数)* この設定を上げると、外部スピーカーへ送られる低音成分が減ります。	H		10	50	75	100	115	135	160	190	235
Internal high pass (Hz) (本機のローカット周波数) この設定を上下すると、下限周波数が上下します。	U		18	22	25	30	34	40			
Internal low pass (Hz) (内部ハイカット周波数) この設定を上下すると、上限周波数が上下します。	L		55	85	130	フラット					
Coarse gain (dB) (大幅なゲイン調整) この設定を1段階、上下するとスピーカーのゲイン (音量) が5 dB ずつ上下します。	G		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15		
Fine gain (dB) (ゲイン微調整) この設定を1段階、上下するとスピーカーのゲイン (音量) が1 dB ずつ上下します。	F	0	+1	+2	+3	+4					

パラメーター	シンボル	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Bass equalisation (低音イコライゼーション) この設定を1段階上げるごとに、30 Hz 以下が3 dB ずつ上がります。(dB@30 Hz)	b	0	+3	+6							
Time out (分) (スタンバイ設定) 入力信号が終わり、スタンバイに入るまでの時間	t	常時オン	5	10	20						

* ARTIKULAT 345 スピーカーのローカットフィルター出力がパワーアンプに接続され小型スピーカーをドライブする時のみ有効。(本章「接続」の項を参照)。

テクニカルデータ

	ARTIKULAT 350	ARTIKULAT 340	ARTIKULAT 320
種類	6ウェイ・フロア型 スピーカー	5ウェイ・センター スピーカー	4ウェイ・コンパクト スピーカー
電源電圧 (自動センサー)	90 ~ 135 V 180 ~ 265 V	90 ~ 135 V 180 ~ 265 V	90 ~ 135 V 180 ~ 265 V
電源ヒューズ	Schurter FST0034.3217 – 10 A、250 V	Schurter FST0034.3217 – 10 A、250 V	Schurter FST0034.3217 – 10 A、250 V
消費電力 (完全 AKTIV モデル) スタンバイ 標準使用時 最大使用 (継続) 時	49 W 100 W 600 W	42 W 100 W 600 W	27 W 50 W 300 W
消費電力 (標準モデル) スタンバイ 標準使用時 最大使用 (継続) 時	30 W 50 W 300 W	27 W 50 W 300 W	17 W 50 W 300 W
ドライブユニット	13 mm / 25 mm / 75 mm ドーム、 165 mm Upper Bass、 2 x 200 mm サーボ Lower Bass	13 mm / 25 mm / 75 mm ドーム、 1 x 200 mm Upper Bass、1 x 200 mm サーボ Lower Bass	13 mm / 25 mm / 75 mm ドーム、 165 mm サーボ Bass
出力音圧レベル	87 dB / 1 W / 1 m (1 kHz)	87 dB / 1 W / 1 m (1 kHz)	87 dB / 1 W / 1 m (1 kHz)
クロスオーバー オプション	完全 AKTIV (内蔵モジュール) 完全 AKTIV (内蔵 Lower Bass / 外部 Upper Bass / 3-K アレイ) AKTIV Lower Bass / パッシブ Upper Bass / 3-K アレイ	完全 AKTIV (内蔵モジュール) 完全 AKTIV (内蔵 Lower Bass / 外部 Upper Bass / 3-K アレイ) AKTIV Lower Bass / パッシブ Upper Bass / 3-K アレイ	完全 AKTIV (内蔵モジュール) 完全 AKTIV (内蔵 Bass / 外部 3-K アレイ) AKTIV Bass / パッシブ 3-K アレイ
トレブルシェルフ設定 (完全 AKTIV モード のみ)	0 dB*、-1.5 dB、 -3 dB	0 dB*、-1.5 dB、 -3 dB	0 dB*、-1.5 dB、 -3 dB
Bass シェルフ設定	0 dB*、+2 dB、 +4 dB	0 dB*、+2 dB、 +4 dB	0 dB*、+2 dB、 +4 dB

*工場出荷時の設定

	ARTIKULAT 350	ARTIKULAT 340	ARTIKULAT 320
Bass ロールオン 設定	19 Hz*、40 Hz、 80 Hz	19 Hz*、40 Hz、 80 Hz	50 Hz*、80 Hz、 100 Hz
周波数レスポンス ーパッシブ	20 Hz ~ 33 kHz	30 Hz ~ 33 kHz	55 Hz ~ 33 kHz
周波数レスポンス ーアクティブ	20 Hz ~ 33 kHz	30 Hz ~ 33 kHz	55 Hz ~ 33 kHz
クロスオーバー ポイント	すべて Butterworth 105 Hz、392 Hz、 3.8 kHz、10.9 kHz	すべて Butterworth 105 Hz、392 Hz、 3.8 kHz、10.9 kHz	すべて Butterworth 392 Hz、3.8 kHz、 10.9 kHz
公称インピーダンス ーパッシブ	4 Ω	4 Ω	4 Ω
インピーダンス ーアクティブ (Upper-Bass)	8 Ω	8 Ω	8 Ω
インピーダンス ー アクティブ (ミッドレンジ)	8 Ω	8 Ω	8 Ω
インピーダンス ー アクティブ (ツイーター)	6 Ω	6 Ω	6 Ω
インピーダンス ー アクティブ (スーパーツイーター)	4 Ω	4 Ω	4 Ω
接続オプション	最高4ウェイ マルチワイヤリング/ アンプ	最高4ウェイ マルチワイヤリング/ アンプ	最高3ウェイ マルチワイヤリング/ アンプ
磁気シールド	有	有	有
キャビネット容量	50 リットル	40 リットル	20 リットル
寸法	1100 mm (H) x 312 mm (W) x 430 mm (D)	290 mm (H) x 840 mm (W) x 400 mm (D)	473 mm (H) x 292 mm (W) x 410 mm (D)
梱包寸法	1188 mm (H) x 432 mm (W) x 612 mm (D)	441 mm (H) x 1004 mm (W) x 625 mm (D)	658 mm (H) x 394 mm (W) x 584 mm (D)
重量	54 kg / 119 lb	46.5 kg / 102.5 lb	19.5 kg / 43 lb
梱包時重量	64.8 kg / 143 lb	51.5 kg / 114 lb	23.6 kg / 52 lb

	ARTIKULAT 345
種類	1ウェイ低音補強スピーカー
ドライブユニット	300mm サーボベースドライブユニット
電源電圧 (自動センサー)	90 ~ 135 V 180 ~ 265 V
電源周波数	50 ~ 60Hz
電源ヒューズ	6.3 A、slow-blow、5 x 20 mm、 Littlefuse 21806.3
磁気シールド	有
外部周波数レスポン	10 Hz ~ 235 Hz までの9段階調整。 デフォルトは 10 Hz。
内部周波数レスポン	55 Hz ~ 130 Hz までの3段階調整および フラット (外部ハイカットフィルターも 使用可)。デフォルトは 55 Hz。
ゲイン	1 dB 段階で調節可。
ライン入力インピーダンス	18 k Ω
ライン出力レベル	ライン入力とパラレル接続
消費電力 スタンバイ 標準使用時 最大使用 (継続) 時	11 W 60 W 150 W
出力	500 W RMS、1000 W 最大
キャビネット容量	45 リットル
寸法	420 mm (H) x 491 mm (W) x 410 mm (D)
梱包時寸法	596 mm (H) x 595 mm (W) x 534 mm (D)
重量	27 kg / 59.5 lb
梱包時重量	30 kg / 66 lb

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン: 0500 888909
電子メール: helpline@linn.co.uk
Webサイト: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

電話: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
ヘルプライン: 888-671-LINN
電子メール: helpline@linninc.com
Webサイト: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Deutschland

電話: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
電子メール: info@linngmbh.de
Webサイト: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

電話: +813.5816.6881
Fax: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Webサイト: www.linn.jp